

— 池島 —

どうもこんにちは、桂あさ吉です。

今回のテーマは「池島」です。池島の地名は、昔、三つの井路川(いじがわ)に囲まれた土地に池があったことに由来しています。ところが、地図で確認してみると、島はありません。そこで昔の港区の地図を見てみると、ありました。

ちょうど、今の池島2丁目のあたりが、確かに三角形の島ようになっておりました。当時の八幡屋運河、新池田町の井路川、三十間堀川(これは今も存在します)に三方を囲まれるような形でした。こうしてみると、港区もだんだんと地形が変わっていているんですね。

よっちゃん — おーい寅ちゃん、今日は池島に釣りに行こうや。
寅(とら) — あの池か?
よっちゃん — そうや、あそこに大きなナマズがおるらしいで。
寅 — よっしゃ、行こ行こ。
よっちゃん — おかしいな、確かこのあたりに池があったはずやねんけど。
通行人 — どうしたんや、迷子か?
よっちゃん — 違う違う、このあたりに池があつてんけど…。
通行人 — ああ、ここの池は埋め立てられて、もうないで。
よっちゃん・寅 — えー!
よっちゃん — 知らなかった、いつの間に?しょうがない。
寅ちゃん、三十間堀川で釣りして帰るか。

よっちゃんと寅の二人は三十間堀川で釣りを始めました。

寅 — よっちゃん、引いてるで。
よっちゃん — ほんまや! 寅ちゃん手伝って、大物らしい。もしかしたら、大ナマズちゃうかー。ウワー。引きづり込まれるー。
(ドボーン)
母 — ちよっと、いつまで寝てんの、学校に行く時間やで。
よっちゃん — ウワー。助けてー。
母 — 何言うてんの、この子は。はよ学校に行く準備しなさい。
よっちゃん — あれっ、ナマズは?池がなくなって…、埋め立てられてんで…。
母 — 何を寝ぼけてんの?あんた、また寝小便してるやないの。
よっちゃん — あっ、こんなところに池があつた!

おあとがよろしいようで。